

【参加時の留意点】

- **参加時の表示名は必ず「所属組織 所属部署 氏名」で設定してください。**
※必要に応じて事務局にて、表示名を「所属組織_所属部署_氏名」へ変更させていただきます。
- 通信環境の安定を目的に、**発言時を除き、カメラはオフ、マイクはミュートにしてください。**
- 発言を希望する場合は、WebExの画面下にある挙手ボタンを押していただき、司会者または事務局から指名された後に発言してください(発言が終わりましたら、挙手ボタンを下げてください)

開始まで今しばらくお待ちください



第3回_広域被災者データベース・システム構築検討ワーキンググループ

議事次第

1 開会

令和7年1月31日(金)10:00-11:30

石川県行政庁舎13階1311会議室(ハイブリット開催)

2 議事

(1) 標準仕様書:

- 第3回検討検証チーム、第4回検討検証チーム実施結果のご説明
- 成果物の構成・作成方針のご説明

(2) 導入手順書:

- 第3回検討検証チーム、第4回検討検証チーム実施結果のご説明
- 成果物の構成・作成方針のご説明

<ミーティングリンク>

<https://ishikawapf.webex.com/meet/type-s>

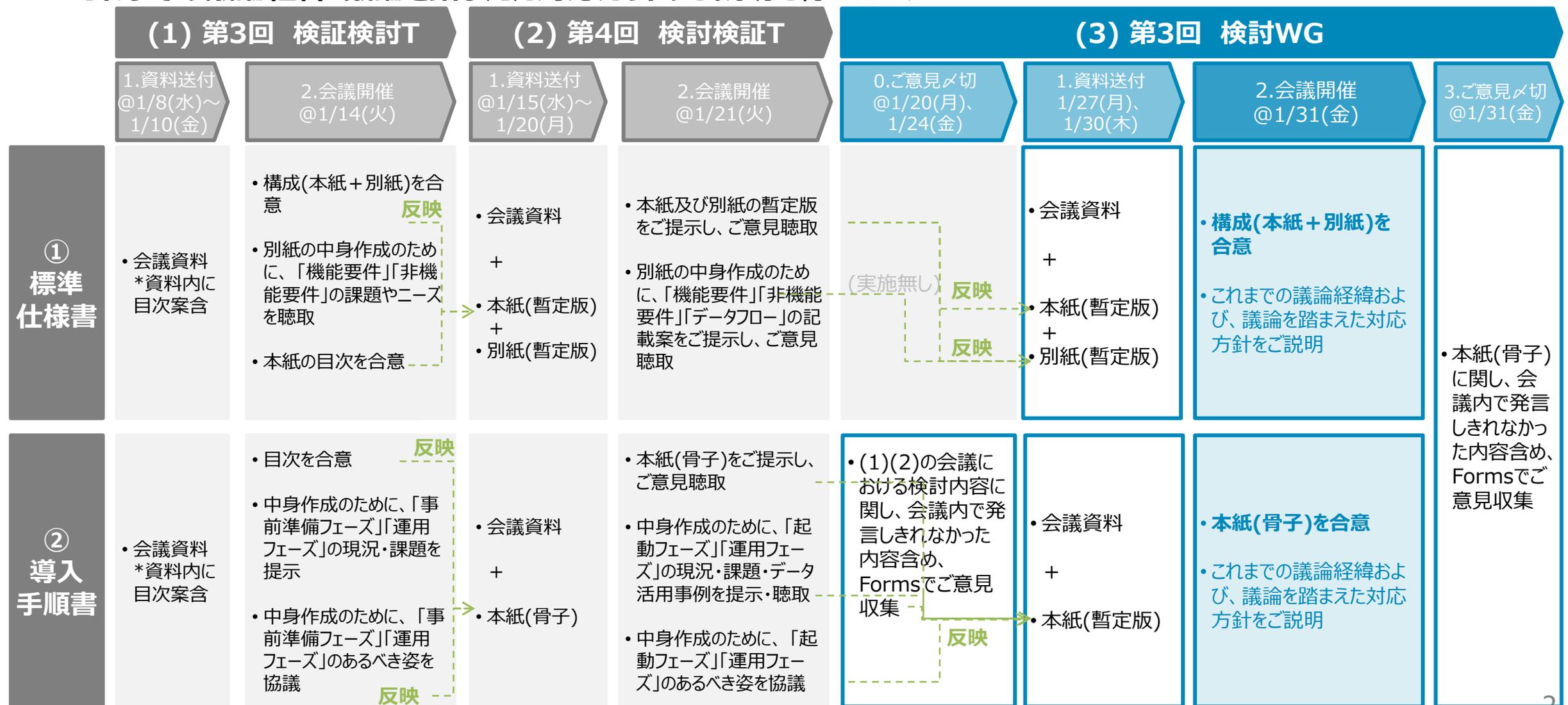
3 閉会

<配布資料>

- 資料1_20250131_第3回検討ワーキンググループ_概要資料
- 資料2_20250131_第3回検討ワーキンググループ_議事(1)標準仕様書
- 資料3_20250131_【本紙】標準仕様書
- 資料4_20250131_【別紙1】機能要件一覧
- 資料5_20250131_【別紙2】非機能要件
- 資料6_20250131_【別紙3】データフロー
- 資料7_20250131_第3回検討ワーキンググループ_議事(2)導入手順書
- 資料8_20250131_導入手順書
- 参考資料1_広域被災者データベース・システム構築検討ワーキンググループ開催要綱、委員名簿
- 参考資料2_これまでいただいたご意見一覧

本会議の位置づけおよび今後の進め方

■ 本会議では、「標準仕様書の構成」および「導入手順書本紙の骨子」の合意、および、これまでの議論経緯・議論を踏まえた対応方針のご説明を行いたい。



被災者支援の全体像の中での「広域被災者データベース・システム」

広域被災者データベース・システムの位置づけ

- 広域被災者データベース・システムは、市町村の区域を超えた**広域災害**において、**人災（災害関連死等）を防ぐ**ため、避難所に着目した支援から、より**人の動きに着目**したきめ細かい支援を行うため、**民間を含めた支援者**が被災者の状況を把握するため、に設けるものです。

<広域被災者データベース・システムの運用期間>

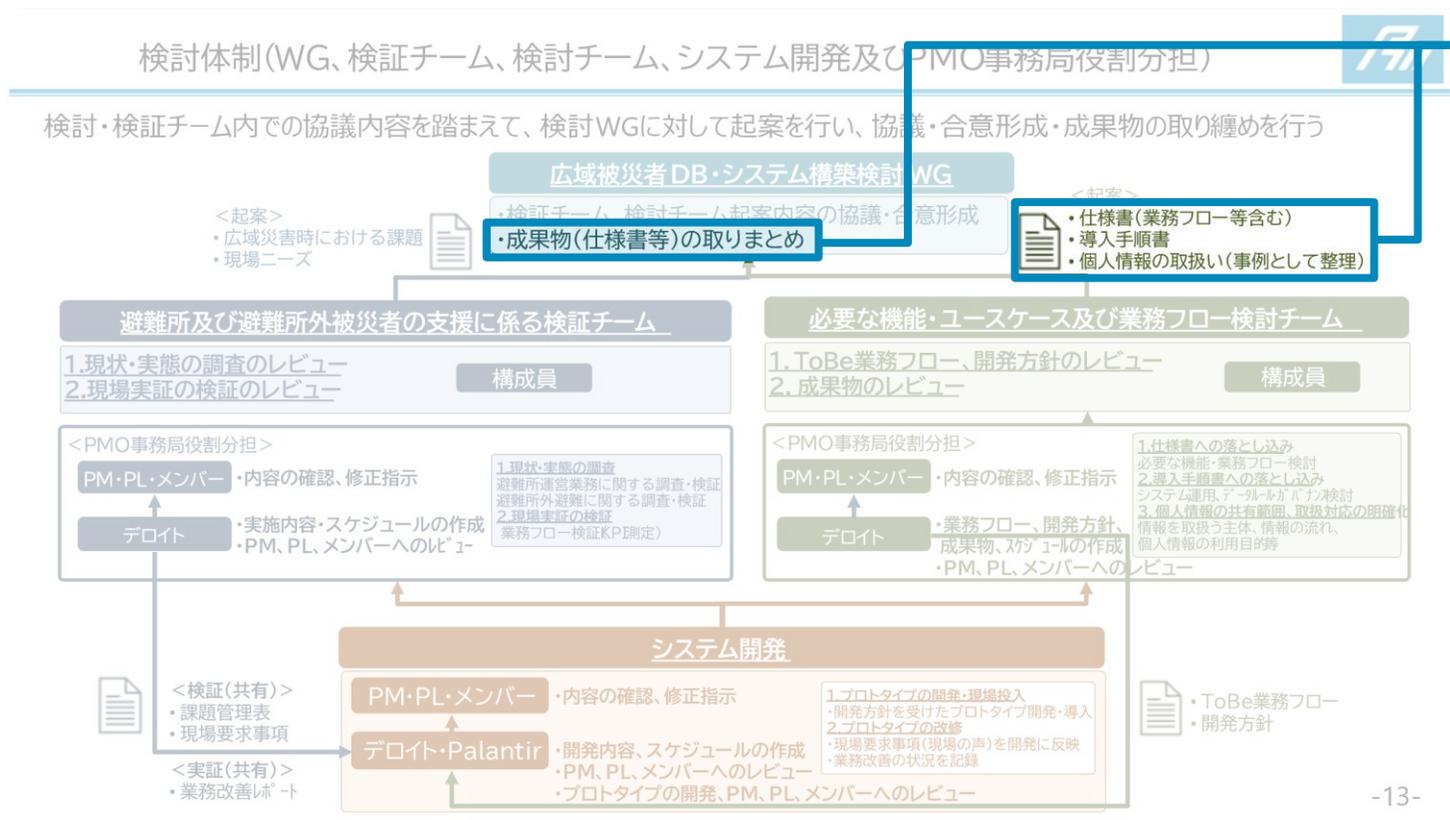
	A.平時	B.発災時～応急期	C.復旧期、復興期
①通常災害			
②広域災害	事前準備	システムの起動	システムの運用

応急期：発災後3日目まで 復旧期：発災後1週間まで 復興期：復旧期以降
 ※避難所運営ガイドライン（平成28年4月内閣府（防災担当）の定義による）



広域被災者DB・システム構築検討WGの役割と成果物

- 検討・検証チーム内での協議内容を踏まえて検討WGに対して起案を行い、検討WGにて、協議・合意形成・成果物の取り纏めを行います。※第1回検討チーム/検証チーム資料より引用
- 主な成果物は、「**標準仕様書**」と「**導入手順書**」の2つが対象です。



主な成果物

① **標準仕様書** ※6pご参照



② **導入手順書** ※7pご参照



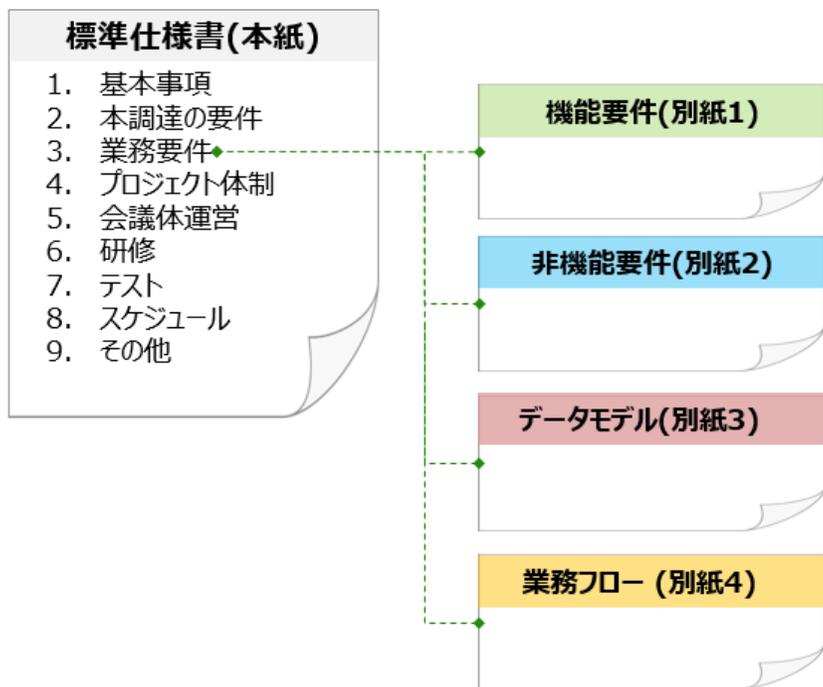
「標準仕様書」の位置づけ

「標準仕様書」の位置づけ

仕様書 手順書

- 標準仕様書は、災害時に被災者の情報を一元的に管理し、迅速かつ効率的に支援を行うために、**データベースの設計や運用に関する標準的なガイドラインや仕様をまとめた資料**です。
- 標準仕様書は、石川県が構築した被災者データベースやユースケースを参考に、**システム構築を行う事業者(ベンダー)を調達する際の調達仕様書のベースとなる資料**です。**調達時には、標準仕様書に広域自治体固有の要件を検討・反映したものを広域自治体の調達仕様書として作成**します。
- 作成にあたっては、地方公共団体情報システムの標準化対象20業務の仕様書を参考に作成しています。
- なお、本システムは情報共有を目的としたデータベースシステムであり、個別業務機能は対象外としています。

標準仕様書の構成



各仕様書の概要

標準仕様書(本紙)	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 本事業の背景・目的から構築費用及び、プロジェクトとして実施すべき事項について簡潔に整理したもの
機能要件(別紙1)	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 本事業で構築するシステムに実装すべき機能面における要件を整理したもの ✓ 性能やユーザー利便性等基本的に満たすべき事項を基本要件として、業務上必要となる機能を機能要件として整理
非機能要件(別紙2)	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 本事業で構築するシステムの非機能面において満たすべき項目・基準を整理したもの ✓ 当資料はあくまで基準を整理したものであり、より具体的に示す必要がある項目は基本要件側にて定義
データモデル(別紙3)	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 本事業で構築するシステムにおいて取り扱うデータ項目と各データの繋がりを視覚的に表現したもの
業務フロー(別紙4)	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 本事業で構築するシステムの対象となる業務と、当該業務における業務と情報の流れを視覚的に表現したもの

②「導入手順書」骨子

「導入手順書」の位置づけ

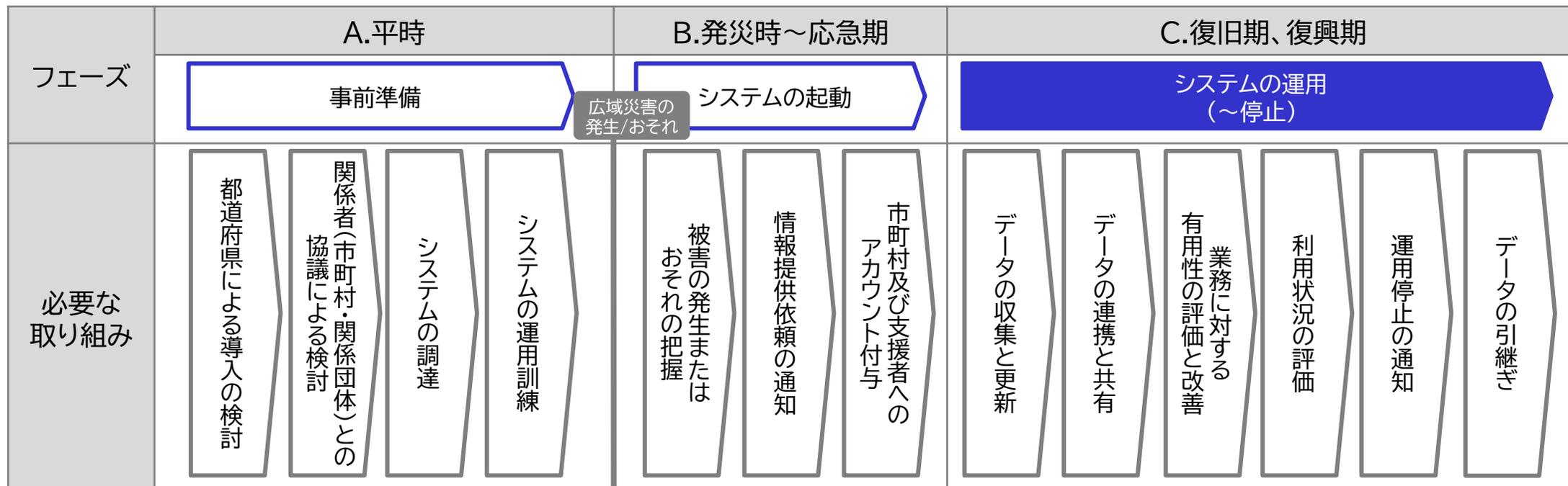
仕様書 手順書

- **広域災害時に、発災直後から市町村の機能回復や多様な支援者による被災者支援が必要な期間において、行政区域を越えて被災者情報を共有**するため、**システムの起動から停止に必要な手順を導入手順書に整理**しております。（初めて担当する職員も問題なく実施できるように）

→各フェーズに必要な取り組み（枠組み/フロー）について、委員（有識者等）へレビューを実施、検討体制に諮り、導入手順書に反映します。

→「データを利活用した支援」については、想定する定型/定常業務以外の業務への利用拡大も想定しております。

<広域被災者データベース・システムの運用期間>



議事（1）

標準仕様書パート

■ 下記資料投影の上、ご説明予定。

- ✓ 資料2_20250131_第3回検討ワーキンググループ_議事(1)標準仕様書
- ✓ 資料3_20250131_【本紙】標準仕様書
- ✓ 資料4_20250131_【別紙1】機能要件一覧
- ✓ 資料5_20250131_【別紙2】非機能要件
- ✓ 資料6_20250131_【別紙3】データフロー

議事（2） 導入手順書パート

■ 下記資料投影の上、ご説明予定。

- ✓ 資料7_20250131_第3回検討ワーキンググループ_議事(2)導入手順書
- ✓ 資料8_20250131_導入手順書

総括コメント・事務連絡

今後の検討会議体の予定

1. 日時・場所

【第5回検討チーム】

令和7年2月25日(火)10:00-12:00

石川県行政庁舎7階711会議室 ※現地・オンラインのハイブリッド開催

【第6回検討チーム】

令和7年3月4日(火)10:00-12:00

石川県行政庁舎11階1105会議室 ※現地・オンラインのハイブリッド開催

【第4回検討ワーキンググループ】

令和7年3月17日(月)13:00-15:00

石川県行政庁舎11階1104会議室 ※現地・オンラインのハイブリッド開催

2. 主な議事

※調整中

3. 開催方法

オンライン開催（Webexを利用）

（事務担当）

ワーキンググループ運営事務局

デロイトトーマツファイナンシャルアドバイザー合同会社

検討WG運営担当 久保・廣田・畠山

Mail: digital_types_bousai@tohmatu.co.jp

石川県総務部デジタル推進監室 山森・谷場・杉浦

TEL: 076-225-1320

Mail: e120300@pref.ishikawa.lg.jp